

RI会長:カルヤン・バネルジー/ガバナー:立原 雅夫

会長: 武田 和則 / 幹事:石渡 健司 : 例会日:木曜日  
 クラブ会報委員会: : 午後 12:30開会  
 委員長:境野 登章 : 会場:ベルヴィアイトピア  
 副委員長:永島 健雄



「こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために」

## 第2242回 第三十二回例会 (2012年3月1日)

- ☆ 点鐘
- ☆ 国家斉唱 君が代      ロータリーソング斉唱 奉仕の理想
- ☆ 四つのテスト唱和
- ☆ 来訪者紹介            武田和則会長
- ☆ 会長報告              武田和則会長
- ☆ 結婚誕生祝い
- ☆ 幹事報告              石渡健司幹事
- ☆ 委員会報告
- ☆ 会員卓話              環境保全委員会 倉持好二郎委員長
- ☆ 出席奨励委員会        野口一信委員長
- ☆ スマイルボックス委員会 井上真弓委員長
- ☆ 点鐘

### ★ 点鐘

### ★ 来訪者紹介

### ★ 会長報告

### 武田和則会長



本日の来訪者は、茹一幸さんです。  
茹一幸さん、一言ご挨拶をお願いします。

#### ※ 茹一幸さん

皆様にはこの1年間お世話になり、ありがとうございました。  
一旦帰国しますが、また戻って参ります。お土産を買って来ますので、楽しみにして下さい。以上、ありがとうございました。



#### ※ 富田久雄委員長

茹一幸さんは今現在大学3年生ですが、4年生が終わるまで、つまり来年の3月までおります。それまでは、皆様のご支援をどうぞ宜しくお願い致します。



皆さんこんにちは。今日は環境保全委員会の委員長、倉持好二郎さんの卓話例会となります。環境保全は現在は地球規模で大きな課題となり、大変に難しい問題となっております。大きな課題にしなくてはならない程に、なぜ環境破壊がされたのでしょうか。それは人が豊かさを求めた事にあるのだと、私は思います。しかし人が豊かさを求めた事を、悪い事だとは言いきれません。ある程度は仕方がなかった事と思われます。一つには、人口が急激に増加しました。日本では、明治維新の1868年の時は3330万人で、2008年には約1億2700万人となり、わずか140年間で3.8倍に増加しました。2050年には、約8800万人に減ってしまうと予想されております。世界規模で見ると、1950年の時は25億人で、2010年では約69億人となり、60年間で、2.7倍になりました。2050年の予想は、90億人に増加するのだそうです。食料不足になるのではと心配されております。しかし人口が増加したから豊かになったとは言えませんので、年収について調べてみました。1950年、昭和25年の頃は約30万円で、2000年の平成12年では約480万円となり、2010年の平成22年で、約430万円だそうです。当然に物価の変動がありましたが、約15倍に増加しております。人口は約3倍になり、年収は約15倍になったのですから、確かに暮らしは豊かになったと言えます。色々な開発を進め、環境破壊をしながら利益を求め、ある程度の豊かさを手にした事は確かだと思います。しかしある一説には、貧困も環境破壊の原因になるとも言われております。

～会長報告 次のページ左へ続く～

～会長報告 前のページより続き～

それは、生きる為の環境資源をその再生能力の限界を超えて消費してしまうからだと言われております。貧困過ぎてもいけないし、過度な裕福を求め過ぎても良くないのだそうです。ついついこれでもかこれでもかと、過ぎてしまうのがいけない様です。『過ぎたるは、なお及ばざるが如し』と言う言葉があります。しかし昔の植木等のヒット曲のスーダラ節で、『わかっちゃいるけどやめられない』が大ヒットしました。人が生きていく限り、このわかっちゃいるけどやめられないと言う生活は、なくなる。これは親鸞上人の教えに通じている。そう言うものを真理と言うのだそうです。しかし、そろそろ環境保全を真剣に考えなくてはならないと思います。環境保全と環境破壊は永遠の課題のようです。2050年は今から38年後、倉持さんは現在54才ですから、92才になります。まだご存命の可能性があると思われま。その倉持さんの環境保全の卓話を、今日は大変に楽しみに致しております。これで、会長報告と致します。ご静聴、ありがとうございました。

～幹事報告 左ページより続き～

台湾城中RC25周年式典参加親睦旅行は、おかげさまで持ちまして36名の方の加を頂きました。有り難うございました。例会終了後参加者説明会を行います。ロビーにお集まり下さい。2570地区より、GSEの受入を要請されました。期日は4月17日より4月21日までの4日間です。名前はリナさんです。IT関係を目指している女性です。もし受け入れても良いという会員がおりましたら、宜しくお願いします。本日理事会が行われました。4月のプログラムが出来ましたので、後ほどFAXにてお送りします。尚、理事の皆様より例会プログラムをもっと詳しく連絡するようにと指摘がありましたので、わかりやすく明細に情報を送りますので宜しくお願いします。後期の結婚・奥様誕生祝いの食事会が、3月28日(水)に計画されました。前期参加しなかったメンバーの方々、ぜひ奥様と同伴でご参加下さい。宜しくお願いします。以上で幹事報告を終わります。

## ★結婚誕生祝い



代表して、永島健雄会員にご挨拶をして頂きます。



結婚して、48年経ちました。鈴木会員のお父さんに仲人をして頂きました。結婚式は東京オリンピックの年でして、新婚旅行は熱海に行きました。今思うと、とても懐かしく思います。本日は、結婚誕生祝をありがとうございました。

## ★委員会報告

※プロバスクラブ 小山博副会長

3月16日金曜日、プロバスクラブが発足してちょうど10回目の例会になります。こちら(アイトピア)で11時半より受け付けて、卓話は午後1時から午後2時まで行います。今回初めて外部から講師をお招きします。卓話して頂く講師は、日本チュニジア協会の会長さんで小野安昭さんです。卓話内容は、「アラブの春のいくえ」です。皆さまのご参加を、ぜひお願い致します。



## ★会員卓話

環境保全委員会 倉持好二郎委員長



本日は環境保全委員会として水と健康・環境についての影響のお話と、松枯れ対策講習会についてお話を致します。まず水についてですが、なぜ水が大切なのか。人間の体は60～65パーセントが水分です。～会員卓話 次のページ左へ続く～

## ★幹事報告

石渡 健司幹事



～会員卓話 前のページより続き～

体から水分が6パーセント不足すると体調が崩れ、10パーセント不足すると筋肉の痙攣、そして内臓の不全が表れ始めます。20パーセント不足すると、人は死んでしまいます。人は汗で体温調整をし、尿で老廃物の排出などをして常に水分を消費しています。人間にとって、水は極めて大切なものである訳です。昔から、日本は「水と安全はタダ」と言われておりました。飲食店での水やお茶はサービスですし、各家庭の水道の蛇口を捻ればその水を飲めるわけです。行田ロータリークラブは5月に台湾に行くわけですが、台湾では水道水は飲みません。日本は本当に水に恵まれた国だと思えます。僕が小さな頃は自宅に井戸があり、井戸の水を飲んだり夏休みなどはスイカをその井戸で冷やして食べました。しかし最近ではその水が安全ではないかもしれない状況になっています。今や水はガソリンよりも高いわけですから。原因は長年の都市開発や工業開発による環境汚染などにより、土壤に有害な物質が多く含まれるようになってしまった事も起因しています。その結果、都市部の井戸は飲料水として適さなくなりました。余談ですが、給食センターにも井戸がありますが滅菌の装置を付けて井戸の水を消毒し、毎日水質検査を行い安全をクリアしています。勿論何もしなければ、飲料水としては不合格です。しかしそこまでしても保健所の指導は調理等の使用は不可となっておりますので、調理する際に使用していません。これが都市部の井戸水の現状です。それでは水道水はどうか？と言う事が問題になるわけですが、先ほど水道水は飲めるとお話をしましたが、本当に安心して飲めるのか？と言う疑問が湧いてきます。水道水は衛生的に安全でなければならぬわけですが、安全にする為に塩素消毒が行われています。子供の頃のプールの匂いが、塩素ですね。水道水の消毒を塩素で行うのは、消毒の効果が後々まで残る事。大量の水に対し、容易に消毒出来る事です。残留塩素の測定が容易で維持管理が容易であるなど消毒剤として優れた特性がありますので、水の消毒は塩素消毒が行われているわけです。しかし産業の急速な進展から自然環境の汚染が進み、河川や湖や沼や地下水も汚濁(おだく)が進むようになりました。その結果、これらを水源とする水道水も影響を受け、塩素の注入量が増加し、色々な問題が起こるようになりました。因みに魚が塩素に弱いのは、体を覆っている粘膜系が塩素によって酸化されてしまうからだそうです。では人間は塩素に対してどうなのか？魚に影響があっても人間には無害と言う事は、あり得ないそうです。単に人間の方が魚より大きいから、影響が出にくいそうです。そして問題点の中で一番心配な事は、水道水の中に消毒目的で塩素を入れると、水の中の有機物と反応してトリハロメタンと言う発がん物質が出来る事だそうです。現在では、世界各国で水道水中にトリハロメタン濃度の規制を行っているそうです。ミニ知識として、水道水を沸騰消毒させれば大丈夫かと思っている方もいらっしゃると思いますが、水をやかん等で沸騰させた直後ではトリハロメタンは2～3倍に増えているそうです。それを無くすためには、沸騰状態を15～20分持続させる事が、必要なようです。その他に、塩素はビタミンを壊す事もします。キャベツを水に浸すとシャキッとしますが、

～会員卓話 右ページへと続く～

～会員卓話 左のページより続き～

代わりにビタミンを2～3割失っているようです。塩素で殺菌する方法は食品業界でも盛んに行われています。機器の殺菌から原材料の殺菌まで幅広く使用されています。これは加工食品を安全に届けるため、無くてはならない方法でもある訳です。その他、生活排水も問題になっています。家庭から排出される水は下水処理を行って河川や海に流されますが、汚い状態のまま流される場合があります。この水が、有機物を沢山含んでいるそうです。その有機物は化学反応による分解や微生物によって、分解されず。微生物の分解の場合、微生物は多くの酸素を必要とし、その酸素は空気中でなく水中に溶け込んだ酸素を使います。当然の事ながら水中に溶け込んだ酸素は水中昆虫や魚など多くの生物も必要としますので、川などに流される有機物が多ければ、微生物はそれらを盛んに分解して多くの酸素が消費され水中の酸素が不足します。微生物だけで処理しきれない場合は、別の化学反応が起こります。それが腐敗です。腐敗が起こると、悪臭やそれに伴う有害物質が生成され生物が生きていけなくなります。とても重要な事ですが、河川などへの有機物流入は工場などより生活排水の方が多いのです。余談ですが、無洗米が出来たのは米のとぎ汁にはリンや窒素が多く含まれているわけです。リンや窒素は無機質なので下水処理場でバクテリアによる分解が出来ないまま、川や海に流されます。結果、水の富栄養化をもたらすのです。水道局に水道水の安全性(トリハロメタン)について質問すると、川などの水には植物が枯死(こし)し分解した時に出来る腐食質や都市排水などの中にある有機物質が含まれています。水道水を作る過程で塩素処理を行うと、これらの物質と塩素が反応してトリハロメタンが出来ます。水道水中のトリハロメタンの量は、常に水質基準0.1mg/l以下であり問題ありません。なお、発がん性物質に対する水質基準値は、生涯にわたり水を飲んでも人の健康に影響が生じない水準を基に定められています。と言う、回答が帰って来ます。ここで私が申し上げたいのは一方的に「塩素消毒は良くない」と言う事ではなく、例えば下水処理だけは違う方法(オゾンなど)にしようと言うような議論が大切だと思う事です。

～～～以下略～～～



倉持好二郎委員長 卓話風景

★出席状況報告 野口一信委員長



T	・正会員数	56名
A	・85年規定承認者	11名
A	・理事会欠席承認者	0名
P	・本日の出席者	34名
B	・各承認者の例会出席者	6名
MU	・本日のメーキャップ者	5名
	本日の出席率	76.5%

★スマイルボックス委員会 井上真弓委員長



★ニコニコ報告

武田会長	倉持委員長、卓話ありがとうございます。
石渡幹事	倉持委員長、卓話ありがとうございます。
富田会員	米山学生、茹一辛さんようこそ。
小山会員	倉持会員、卓話ありがとうございます。 松枯れ対策講習会のご盛況を祈ります。
山本会員	倉持委員長ご苦労様です。 今後の活躍を期待しています。
宮内会員	倉持委員長、卓話楽しみにしています。
中島会員	倉持さん、卓話ご苦労様です。 日頃のご研修をご披露お願いします。
小菅会員	倉持委員長、卓話ありがとうございます。
清水義夫会員	雪も小降りによかったですね。
小沢会員	倉持会員、本日は卓話ありがとう。楽しみです。
小川会員	欠席つづきでスママセン。
福島会員	明日、興徳寺本堂の上棟式を行う運びとなりました。 これまで長い時間がかかりました。
永島会員	おかげさまで2月28日、忍の行田の昔話第1回が、福島様“長光寺”において“石の蔵”満席になり終了いたしました。参加くださったロータリークラブ会員、誠にありがとうございました。埼玉新聞丸山会長が購読者たった8名ですのでご協力お願いいたします。
持田会員	風邪ひいて、6kg体重が減りましたが、誰も気づいてくれません。残念です。
倉持会員	本日は卓話がんばります。宜しくお願いします。
井上会員	昨日の雪は驚きましたね。私は福島に11年住んでいたのに雪道の歩き方は得意です。転びません。
以下同文	古沢会員、鴨田会員、橋本会員、大野会員、小椋会員、清水治雄会員、境野会員、稲垣会員、鈴木克枝会員、武笠会員、坂田会員、斉藤会員、渡辺会員、武井会員、野口会員
本日のニコニコは36,000円でした。 ありがとうございました。(順不同にて報告しました)	

★点鐘 武田和則会長